https://manabi.benesse.ne.jp/menbe/index.html

大学進学率から見る地方と都市の教育格差

福井県立武生高等学校

はじめに

現状：日本では地方と都市の間に教育格差があると言われている

政府の発表した大学進学率を調べると、都市部で高く、地方で低いという傾向が認められる

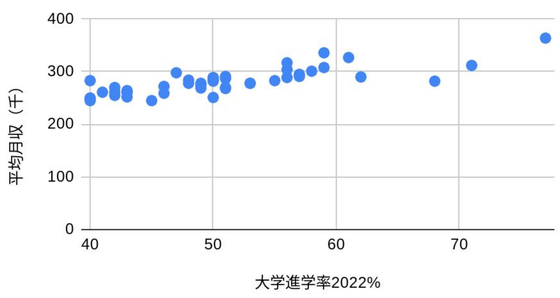
→ 研究テーマ：教育格差の原因の考察と解決策の提案

検証方法

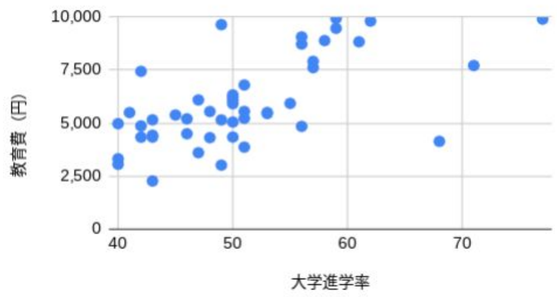
①各県の大学進学率と、大学進学率との関連が予想される要素を散布図に表して相関係数を求め、相関関係を調べる
＊大学進学率との関連が予想される要素として、所得、教育費、塾の数を用いる

②散布図をもとに格差の要因を考察し、解決策を提案する

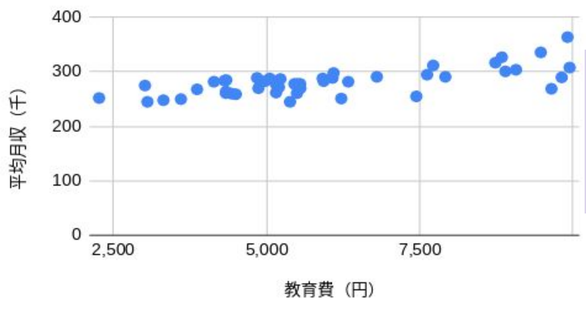
結果・考察

①


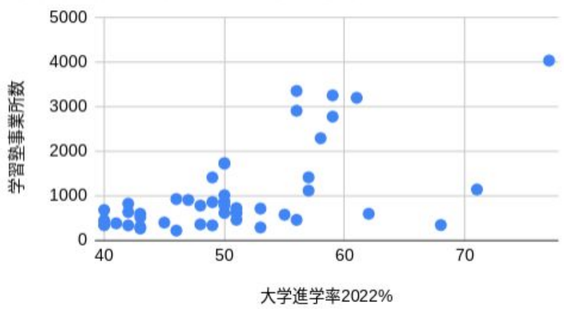
収入と大学進学率に正の相関

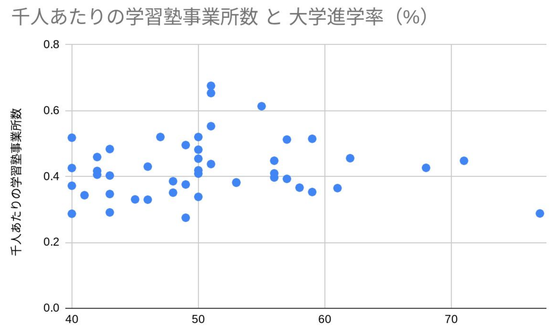
②


教育費と大学進学率に正の相関

③


平均月収と教育費に正の相関

④


⑤


塾の数と大学進学率に相関なし

考察
大学進学率の高い地域では収入や教育費も高く、その逆も同様。
➡経済的な格差と教育格差は密接に結びついている
給与型奨学金の拡大によって教育における経済格差を是正すること、大学入試における地域枠拡大によって大卒者の都市部への流出を防ぐことなど、各地域において、大学進学率、収入、教育費の三要素を高めていくためのアプローチが有効だと考えられる。塾の数を増やし、広く教育を支援することの有効性は確認できなかった。

結論
教育における地域格差は、収入、教育費と深く関わっている。
➡各地域で収入、教育費を高めていくことが有効な解決策になりうる。

今後の課題
教育格差と経済格差の深い関係が明らかになったので、経済格差についてもより深く調べてみたい。